

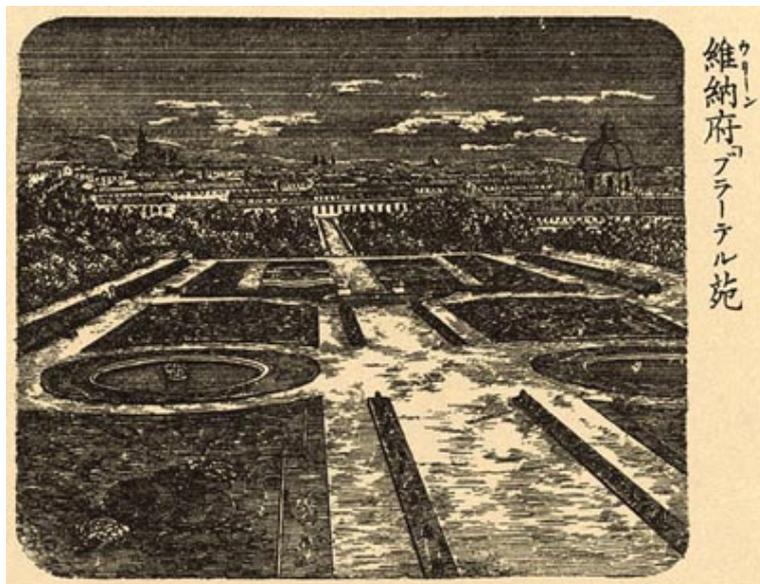
久米邦武編『特命全権大使米欧回覧実記』（1878）から、図版と、本文の図版に関連する部分を抜き出したものです。

## 第五編 欧羅巴大洲ノ部 下

### 目次

第五編 第八十二卷	ウィーン/維納	ウィーン万国博覧会	2
第五編 第八十三卷	ウィーン/維納	ウィーン万国博覧会	4
第五編 第八十四卷	スイス/瑞士		7
第五編 第八十五卷	スイス・アルプス/瑞士蘭山水		11
第五編 第八十六卷	ベルン・ジュネーブ/「ペロン」及ヒ「セネーヴァ」		25
第五編 第八十七卷	リヨン・マルセーユ/佛國里昂及ヒ馬耳塞		32
第五編 第九十四卷	地中海	ナポリ/那不兒	35
第五編 第九十五卷	紅海		37

## 維納府「プラーテル」苑



## 同苑ノ広路ノ行樹 〈此ニ万国博覧会ヲ設ク〉

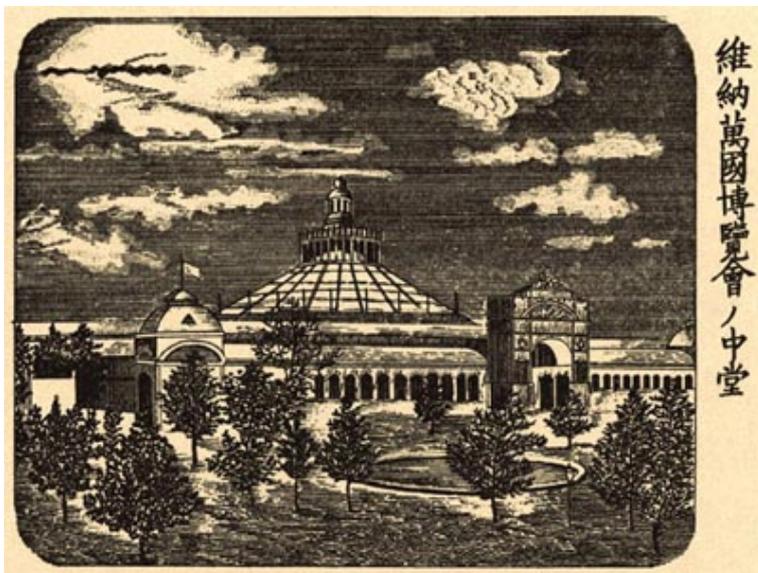


明治六年六月六日

博覧会場ハ、維納ノ東北ナル、「プラーテル」偕楽苑ニ於テ、大円堂、長廊舎ヲ建起ス、此「プラーテル」苑ノ地タル、多脳河ノ中洲ニ位シ、全洲ハ五方英里余、平坦ノ場所ナリ、此ニ細草ヲ播蒔シ、樹木ヲ植エ、中ニハ茶亭酒店等アリ、景色ヲ清浄ニ修メ、府中ノ遊樂地ト

ナシ、府ノ東辺ヲ中枢トシ、三条ノ斜線ヲ日脚状ニ劃シ、大路ヲ開ク、両側ニ「ホースチェ  
ストナット」〈檜ニ似テ緑陰愛スヘキ樹ナリ〉樹ヲウエ、毎条坦平、遠キニ連リ髮ノ如シ、  
其壮美ナルコト、仏国巴黎ノ「バーテブロン」ニ比スヘキ勝地ナリ、今度其正中ニ於テ、会  
場ノ地域ヲ相シ、堂舎ヲ建築セリ

## 維納万国博覧会ノ中堂

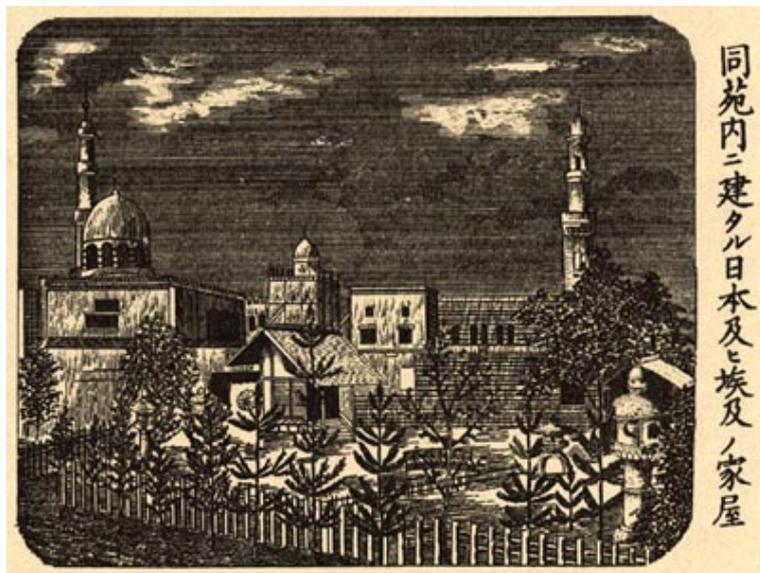


明治六年六月六日

其堂舎ハ、円堂ヲ中心ニ建テ、其左右ニ、廊舎スヘテ十六座ヲ並ヘ、長廊舎ヲ以テ、其中央ヲ串連ス、下状ヲ高く敷釘シ、上宇ヲ高朗ニ葺ク、前ニ広苑ヲ存シ、匝スニ長廊ヲ以テシ、六ヶ所ニ門ヲ設ケテ、人ヲ往来セシム、円堂ノ正面ナル南門ヲ正門トシ、是ヨリ「カイゼルアール」ヲ開ク（即チ皇帝臨幸ノ正路ナリ）、其左右ニハ細草氈ヲ学ビ、明沙雪ヲ欺ク、兩個ノ鑿池アリ、水鳥ヲ放チ、中央ヨリ水ヲ跳ラセ、高サ五六丈ノ上ニ噴騰ス、堂舎ノ左右背後ニ於テハ、種種ノ廨舎ヲ建列ネテ、其不足ヲ補ヒ、中間ニハ、各国ヨリ、其国ノ建築風ニヨリテ、茶亭、酒店、遊樂ノ舎場ヲ設ケ、其土俗ノ如クニ生理ヲナス、宛トシテ地球上ヲ縮メテ、此一苑ノ内ニ入レタル思ヒヲナス、是此場ノ梗概ナリ、

中央円堂ノ造構ハ実ニ絶大ノ建築ニテ、来觀ノ人ヲシテ、落胆セシムルニ足ル、往年倫敦ノ円堂ハ、其径百六十「フィート」ニ築キシモ、人ヲ驚カシタリ、羅馬「セントピートル」寺ノ円堂ハ、其径百余「フィート」ナルモ、亦絶大ト称ス、然ルニ此度ノ堂構ハ、其円径二百五十「フィート」、高サ三百七十「フィート」〈即径四十二間ノ円堂ヲ其高サ四十五間ニ建タルナリ〉、鎔鉄ヲ編テ間架トナシ、飛蓋均ク張り、彫棟高ク騫リ、渾淪混沌タリ、其間ノ文窓網戸ハ、玻璃ヲ嵌シ、上頂ニ結ヘル中心ニハ、奥帝ノ宝冠ヲ摸刻シテ、宝珠ニカヘ、国旗ヲ其頭ニ挙ク、之ヲ望メハ、轟トシテ雲ニ入り渺渺タリ、是ヨリ虚掩三層ニテ、下ノ円蓋ニ至ル、闕縫ノ密ナルハ、重学ノ蘊ヲツクシ、象辺ノ精ナルハ、工匠ノ術ヲ極ム、周囲ニ各国ノ国旗ヲ建テ、五彩風ニ飄ル、是ヲ会場ノ中点トナセリ

## 同苑内ニ建タル日本及ヒ埃及ノ家屋



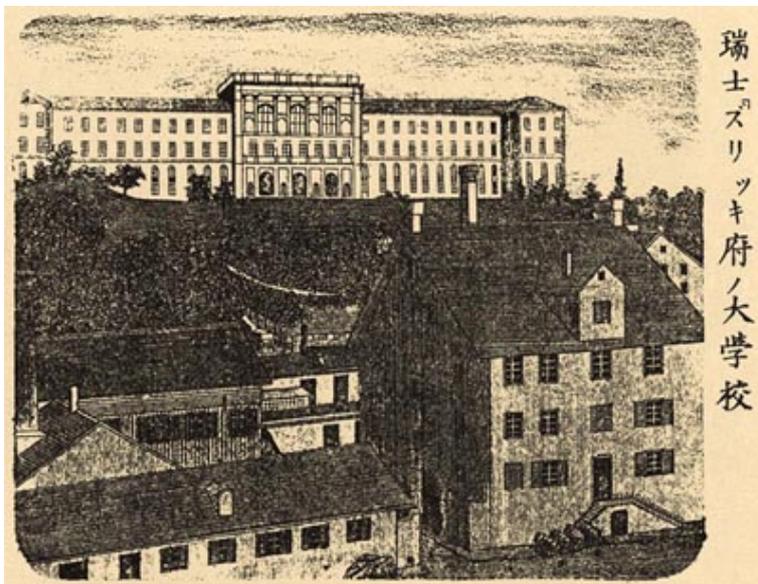
明治六年六月六日

埃及「ローマニヤ」ノ両国ハ、甚タ目ヲ属セサリキ、波斯国ヨリ敷物ヲ多ク出ス、支那ノ物品ハ、其優美ナルモノニアラス、七宝塗ノ蒔絵甚タ多シ、歐洲ノ人、ミナ争フテ之ヲ摸スレトモ及ハスト云、土耳其国ノ出品甚タ多ケレトモ、曾テ出色ノ物品ナシ、其競フ所ハ多キニアリテ、其精美ナルニ注意セサルカ如シ、匈加利以西ノ諸国ハ、其列品ミナ開化ヲサル遠シ、

我日本国ノ出品ハ、此会ニテ殊ニ衆人ヨリ声誉ヲ得タリ、是其一ハ其歐洲ト趣向ヲ異ニシテ、物品ミナ彼邦人ノ眼ニ珍異ナルニヨル、其二ハ近傍ノ諸国ニ、ミナ出色ノ品少キニヨル、其三ハ近年日本ノ評判歐洲ニ高キニヨル、其内ニテ工産物ハ、陶器ノ誉レ高シ、其質ノ堅牢ニシテ、製作ノ巨大ナルニヨルノミ、火度ノ吟味、顔料ノ取合、画法ノ研究等、ミナ門戸ヲモ窺フニ足ラス、絹帛ノ類モ、其糸質ノ美ナルノミ、織綜ノ法、多クハ不均ニシテ、染法ハ僅ニ植物ノ仮色ニテナルヲ以テ、光沢ノ潤ヒナシ、漆器ハ、日本ノ特技ナレハ、評判高シ、銅器ノ工モ精美ヲ欠ケトモ、七宝塗、象嵌細工ハ、大ニ賞美セラルハ工技ナリ、画様ハ西洋ト別種ニテ、花鳥ノ如キハ、風致多シトテ賛美スレトモ、人物ノ画ニ至リテハ、或ハ俳優ノ粉飾ヲ摸シ、陋醜ノ面目、人ヲシテ背ニ汗セシム、寄木細工モ評判ナレトモ、接合ノ際ニ術ヲ尽サス、漆ノ功ヲ恃ムノミ、歐洲ニテ此技工ヲナセルヲ一見シテ、更ニ發明スル所アラハ、一ノ国産トナルヘシ、麦藁細工モ、亦評判アレトモ、元來価アルモノトハ看認スシテ雑作シタル物ユヘ、早ク損スルヲ如何セン、染革ノ製作ハ、反テ劇賞ヲ受ケタリ、是或ハ欧人ノ未タ知ラサル秘蘊ヲ漏セルカ、紙ト麻紙トハ看官ノ目ヲ驚

カセリ、紙ハ材料、抄法、共ニ別法ナレハナリ、越後紙皮ノ白質ニシテ光輝ナル、西洋人之ヲミテ賽絹ノ織物トナサンコトヲ思付タルモノアリト、楮皮モ亦大ニ貴重セラレタリ、油絵ノ如キハ曾テ欧洲ノ児童ニモ及ハス、本色ノ画法、反テ価ヲ有セリ

## 瑞士「ズリツキ」府ノ大学校

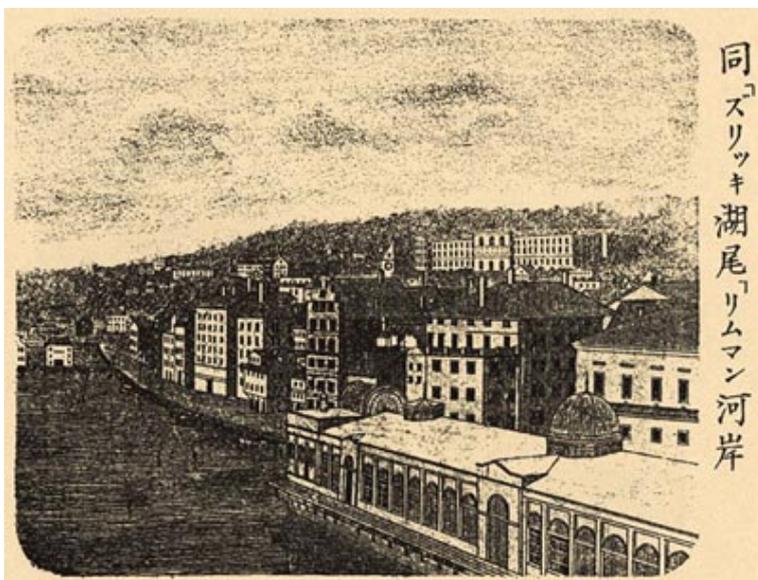


明治六年六月二十日

「ポルテクニク」教導校ハ、府ノ東ニアリ、湖ヲ見晴シテ、風景佳絶ナリ、此ハ百工ノ芸術ヲ教導スル所ニテ、高名ナル学校ナリ、屋造甚タ宏大ニテ、中ニ諸術ノ器械ヲ具備シ、其教ヲ受クルモノ、或ハ日上シテ聞キ、或ハ寄留シテ学フ、工芸ヲ盛ンニスルニ肝要ナル設ケナリ、

大学校ハ其南ニアリ、亦頗ル宏大ナリ、医学校ハ其東ニアリ、ミナ欧洲各国ヨリ来リ学フト云

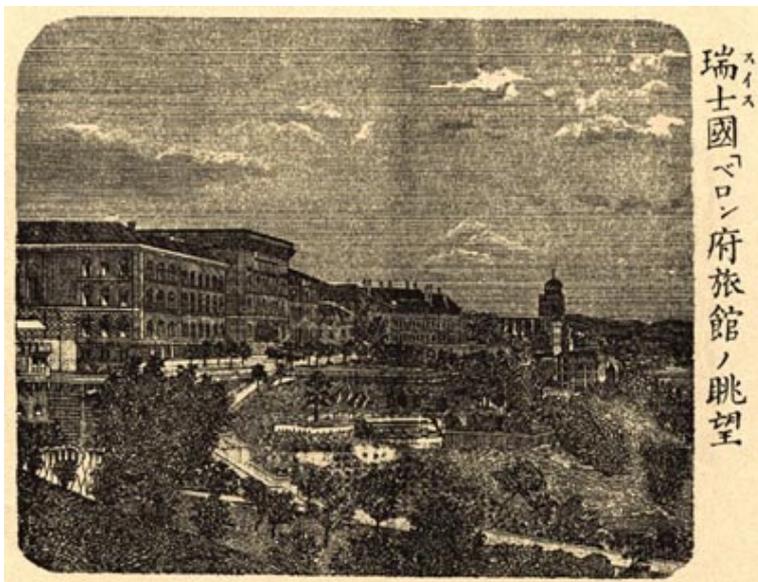
## 同「ズリッキ」湖尾「リムマン」河岸



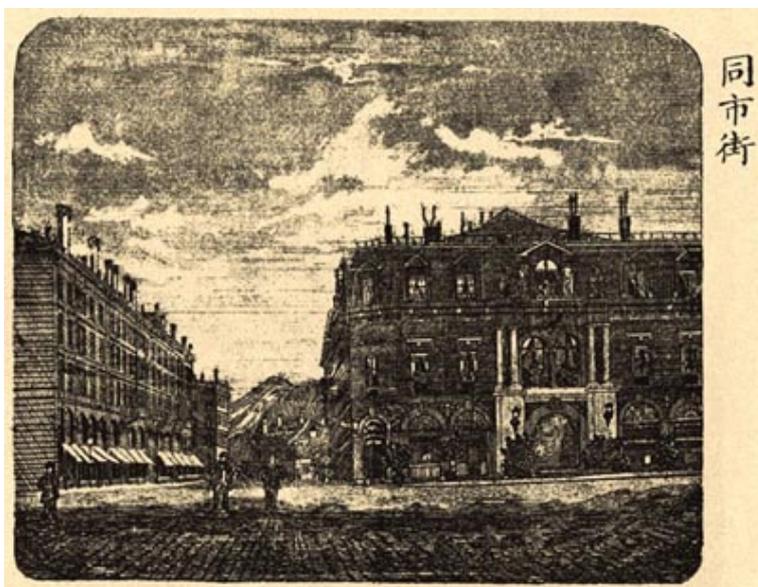
明治六年六月十九日

「ウインシュル」駅ヨリ、半時間行ニテ、「フランウンフェル」駅ニ至ル、此ヨリ「ズリッキ」郡ニ入ル、此郡モ亦新教ノ民ニテ、旧教ノ民ハ、一万余ニスキス、此郡ニ入レハ、地勢昂起シ、左右ニ峰嶺アリ、甚タ高険ナラサレトモ、樹木森蔚トシテ、処処ニ村家ヲ起シ、時ニ溪流アリ、ミナ来因ノ源トナルモノナリ、「オ、レマン」駅ヲスキ、洞道ヲ出レハ、一河ノ横フアリ、之ヲ「リムマン」河ト云、「ズリッキ」湖ノ下流ニテ、亦来因ニ落ツルト云、河傍ヨリ人家陸続トシテ、山脈ハ左右ニ双扇ヲ開キ、奇色アリ、山間ニ一帯ノ原野ヲ開ク、此ニ「ズリッキ」府アリ、此駅ニテ馬車ニ上リ、府中ノ「バオルシチーホテル」ニ宿ヲナス

## 瑞士国「ベロン」府旅館ノ眺望



## 同市街

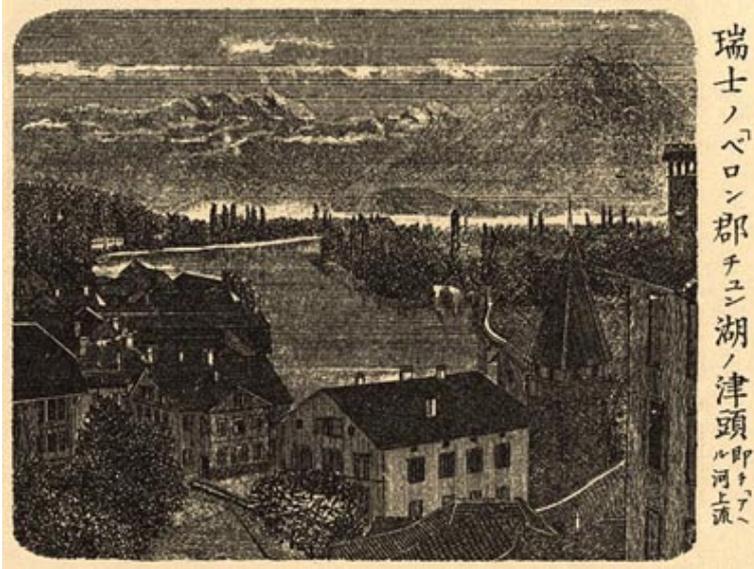


明治六年六月二十日

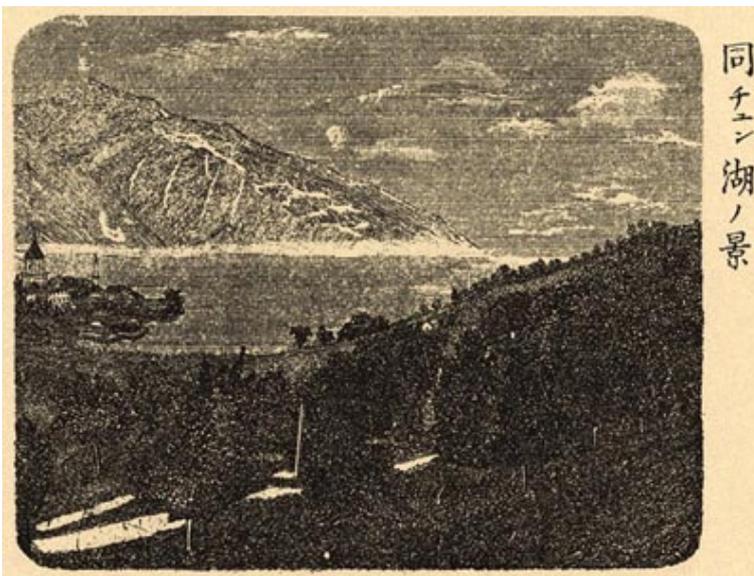
「ベロン」郡ハ、地積二千五百六十一方英里、人口五十〇万六千四百二及フ、瑞士第一ノ大郡ナリ、此郡ヨリ仏語ノ部ニイル、民ハ新教ヲ奉ス、首府ハ即チ「ベロン」ニテ、東経七度二十六分二位シ、人口三万六千人、「アハル」河巴字ヲナシテ流ル、岡角ノ上ニ市塵ヲ櫛比

シテ起シ、兩橋アリ、以テ向岸ニ接連ス、地勢台面ノ平ナルカ如シ、岡坡ヲ起昂シ、水ハ二百尺ノ下ヲ流レ去リ、岨岸ソヒエ、即チ峻險ヲ覺フ、四面ニ山ヲ環繞シ、南方最モ恢朗ナリ、平野ヲ隔テ、遙ニ群嶺ノ白玉ヲ瑩キ、劍鋌ヲ磨シ、鋸齒ヲ乱シ、崔嵬相連ルヲ望ム、其最モ高キハ一万四千尺ニ及フ、窓櫺ミナ其峰容ヲ迎へ、眺望甚タ爽美ナリ

瑞士ノ「ベロン」郡「チュン」湖ノ津頭〈即チ「アハル」河上流〉



同「チュン」湖ノ景



明治六年六月二十二日

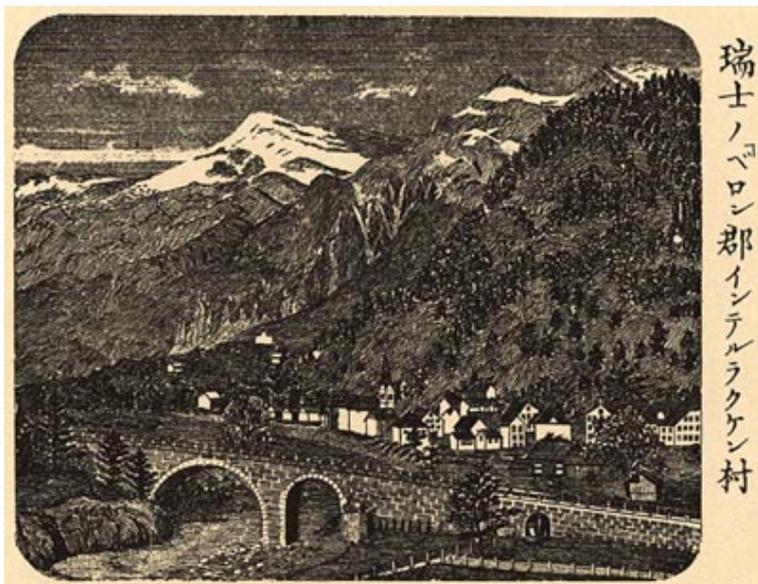
晴天

九時ヨリ、蒸気車ニテ「ベロン」駅ヲ發シ、東南ヲ走ル半時間ニテ、「メンシンゲン」村駅ニ達ス、村家数十戸アリ、家家ニ旗章ヲ翻シ、駅傍ニ天幕ヲ張り、茶果ヲ鬻キ、頗ル人ノ群集スルヲミル、曰ク此村ニテ角力ヲナス所ナリ、其状ハ我邦ノ相撲ニ同シ、或ハ裸シ、或ハ肉襦半ヲ著シテ、相角ストナリ、凡強兵ノ地ハ民ノ遊戯モ亦力技ヲ好ム、白、瑞ノ諸国ハ、

角力的射ヲナスヲ喜フ、故ニ其兵隊ヲミルニ、強健非常ナリ、

是ヨリ二十分時間ヲ走リテ、山角ヲ回り、河ヲ越ユ、此処ヨリ河水ハ浅洲ヲナシテ流レ、舟子小艇ヲ棹シテ上ルヲミル、是「アハル」河ノ上源、「チュン」湖ヨリ流レ落ルロナリ、已ニシテ「チュン」ノ駅ニ著ス、此地ハ海面ヲ抜クコト一千七百五十尺、生口四千五百口ノ大村タリ、兵学校ヲ設ク、右ノ野中ニ広場ヲミル、是ハ全部ノ操練場ニテ、年ニ一回ツヽ、衆民此河蹟ニ集リテ、操練ヲナス所ナリト云フ、是ヨリ一英里ヲ走リ、「チュン」湖尾ノ埠頭ニ達ス、山水ノ奇ハ是ヨリ始ル、「ベロン」ヨリ距離二十一英里

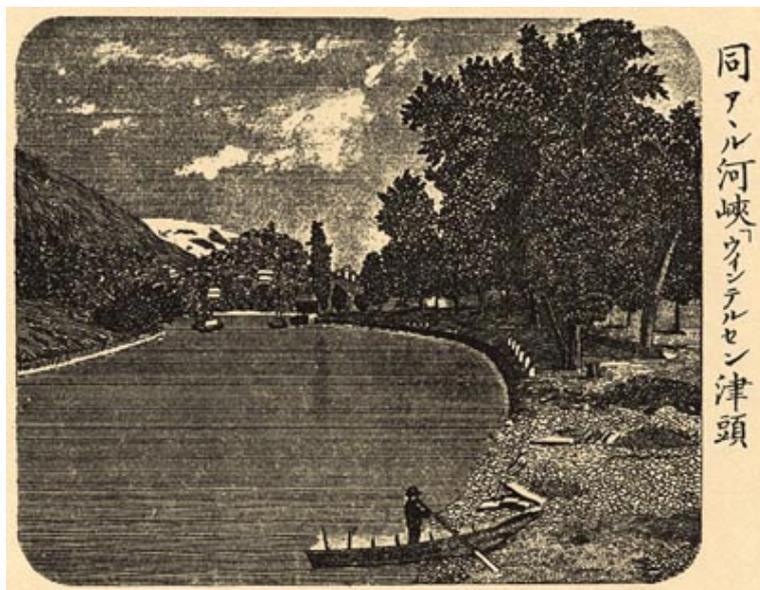
## 瑞士ノ「ベロン」郡「インテルラクケン」村



明治六年六月二十二日

「インテルラクケン」村ハ、「チュン」湖首ト「ブリンズエル」湖尾トノ間ヲ隔テタル地峡ニテ、湖水ハ東西ニタハヘ、山嶺ハ南北ニ聳エ、中ニ平野一面ヲ開ク、村北ニハ「プリンスエール」湖尾ノ水、大河ヲナシテ「チュン」湖ニ流レ落ツ、村家ハ其河岸ニヨリテ街ヲナス、南ニハ「シヨングヒル」嶽ノ谿ヨリ落ル、溪水合流シテ「ブリンズエル」湖ニ入ル所ニテ、広キ河積ヲ開ク、之ヲ「インテルラクケン」ノ野トナス、野ニ眺覽スレハ、左右ノ峰峰ミナ秀テ、「シヨングヒル」ノ諸峰ハ、雪ヲ戴キ奇峻ヲ競ヒテ、緑樹森鬱、中ニ斑雪ヲ露シタル連嶂ノ欠ヨリ、白玉ヲ瑩キタル峰巔ヲ出スハ、画図ニ入ルヘシ、前湖後湖、ミナ遙ニ水ヲミス、只烟波ノ渺渺タルカ如キヲ望ム、朝陽ニ斜陽ニ共ニ風致アリ、人家ハ落落トシテ、路ヲ挾ミテ立ツ、時ニ一ノ市街ヲナス、屋ノ造作モ、亦頗ル都雅ニテ、白堊皎然ナリ、中ニ美麗ノ旅館ヲ建テ、樹ヲ蔭シ艸ヲ播シ、跳水ノ池アリ、清水ノ流レアリテ、北山ニ対ス、此日「ベロン」ノ暑ハ衣ニ汗ス、此地ノ清涼ハ、嵐気衣ヲ侵シテ冷カナリ、此ニテ昼餐ヲ辨シ、休スルコト一時有半ナリ

## 同「アハル」河峡「ウインテルセン」津頭

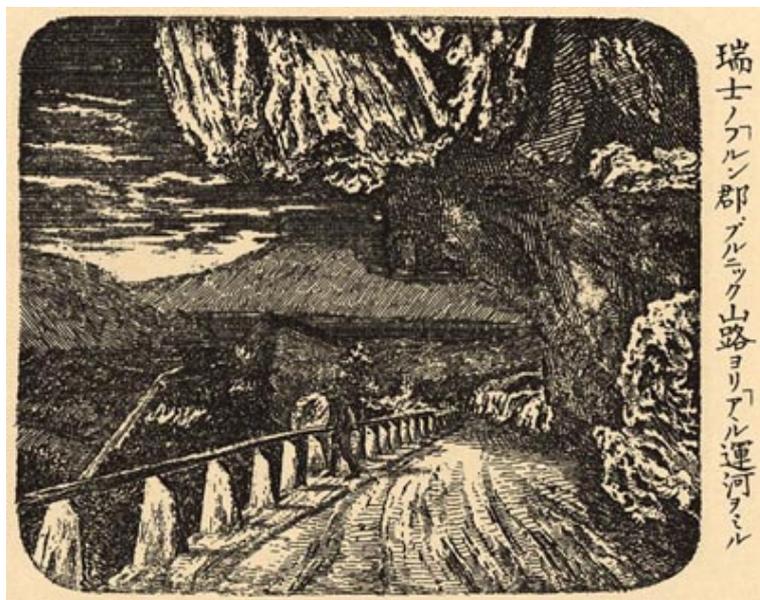


明治六年六月二十二日

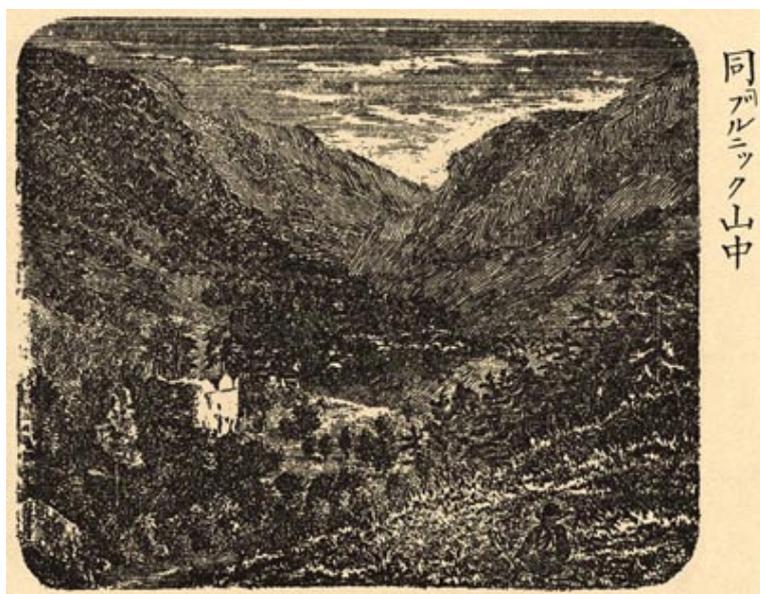
旅館ヲ出テ車ニ上リ、「プリンスェル」湖尾ナル「ウインテルセン」ノ岸ヨリ船ニ上ル、此ハ「プリンスェル」湖ノ「チュン」湖ニ落ル河峡ニテ、水流壮ニ一碧澹然ナリ、汽輪じんヲ発シテ「ゲレーベン」ノ山角ヲ回レハ、此湖ノ勝ハ始マル、

此湖ハ長サ八英里、幅二英里四分ノ一、亦橢円形ニテ東微北ニタハヘ、中ニハ島嶼モナク、岾角モナク、右左ノ山ニ雪峰ノ崔嵬タルモナシ、兩岸ノ峰峰、ミナ皺皺嶄然トシテ、垂義ヲ並ヘ、緑樹參差トシテ、岩石ノ間ニ立ツハ、幾曲ノ翠屏風ヲ環スルヲ知ラス、湖首ニ及フ時、右ニ兩条ノ懸瀑並落ルアリ、「ギースホーフ」ノ瀑トテ、有名ナル瀑布ナリ、此瀑ノ末ハ、欹岩ノ間ヲ分チ、二百余尺ノ上ヨリ、一瀉シテ湖ニ落ル、船長ハ游客ノ為メニ、汽船ヲ此瀑下ヘ近ク駛シ来リ、此ニテ汽力ヲ緩ニスレハ、瀑ノ跳沫霧ヲナシテ船ニソハキ、崖樹ハ潤ヲ含ミ、水珠ヲ数十歩外ニ飛灑スレハ、白日ニ嵐氣為ニ寒シ、瀑ヲ離レ船ヲ進ムレハ、高峰斑雪ノ際ヨリ、一条ノ懸水アリ、溪ヲ伝ヘテ落ち、最下ノ長嶺ニ瀉注スルヲ望ム、宛トシテ白縷ヲ繰リカクルカ如シ、是則「ギースホーフ」ノ懸流ナリ、飛竜直下三千尺、疑是銀河落九天、廬山香爐峰ノ瀑ハ猶虚想ノミ、移シテ此「ギースホーフ」ノ写真トナスヘシ

瑞士ノ「フルン」郡「ブルニツク」山路ヨリ「アハル」運河ヲミル



同「ブルニツク」山中



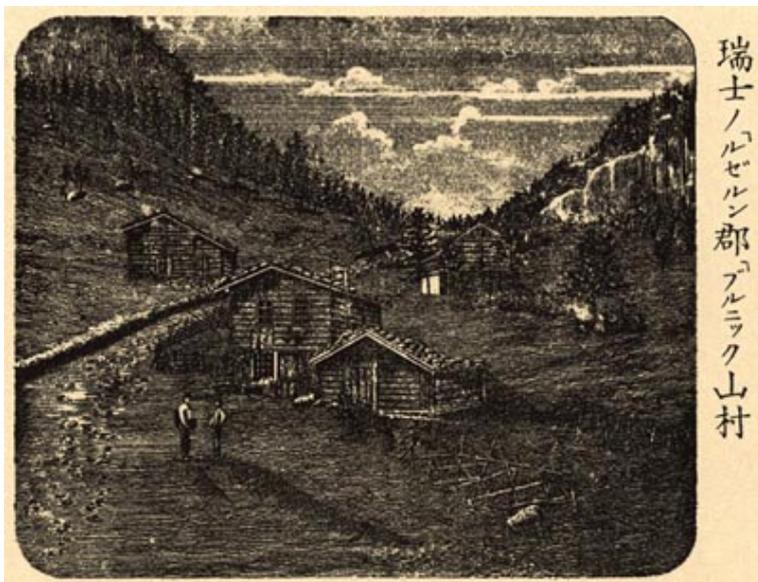
明治六年六月二十二日

「トラチュ」村ハ大小十余ノ人家アルノミ、此ニテ馬車ヲ備ヒ、東北山峡ノ間ヲ走ル、此処ハ北ニ山嶂壁立シ、路ハ其腰ヲユク、俯瞰スレハ「アハル」河ノ源流ハ、其下ヲ流レユキ、兩岸ニ一帯ノ平原ヲ開ク、山民ハ「アハル」河ニヨリテ運河ヲ修メ、山村ノ物産ヲ漕運ス、

岸ニソヒ曳馬ノ路ヲ造リ、甚タ規正ナルヲ見ル、此処ハ一箇ノ山僻ニテ、人家モ疎疎ナレトモ、漕運ノ利ハ、已ニ充備セルコト如此シ、山峽ノ路ハ、岩巒ノ欹チタル側ヲ走り、其岩石ノ質ハ、層層ニ累積シ、紋理ヲ露ハシ、乱レテ簞紋ニ似タルアリ、整ヒテ磬石ニ似タルアリ、或ハ簾緯ノ如ク、或ハ波浪ノ如ク、石紋ノ奇変ヲキハム、是ヨリ馬ヲ叱リテ山路ヲ上リサル、左ハ嶂右ハ壑、路ハ羊腸ヲナシテ曲折シ、時ニ山家アリ、兩三四五ニ村ヲナス、其屋ハ、木ヲ積ミテ壁トナシ、枝ヲ並ヘテ宇トナシ、其屋根ニハ鎮スルニ石ヲ以テス、屋造ノ稍美ナルモノハ、壁ニ板ヲタゝミ、鱗紋ヲナシテ飾リトシ、庇アリ楼アリ、略我木曾山峽ノ人家ニ似タリ、更ニ上リサレハ、路益危ク、時ニ岩石ノ欹立セル側ヲスク、岩石底ノ如クニ突出シテ、其下ヲ走ル、右顧スレハ懸崖百仞、人ヲシテ惴然トシテ怖レシム、危ヲキハメ奇ヲキハメ、一峰ヲ越エテ「ブルニク」ニ達ス、

「ブルニク」ハ一字ノ小旅館アルノミ、「トラチュ」ヨリ五英里程、此ニテ馬ニ飲カフ、此ハ山嶺疊環シ、浪濤ヲ乱スカ如ク、湖水ハ已ニ山脊ニ隠ル、乃瀑布ノ觀アリ、左右ニ回瞻スレハ、瀑布ノ峰峰ニ懸ルヲ数ヘテ、八九箇ニ及ヘリ、此辺ニテ実ハ二十条ノ瀑布ヲミル所ナリト云

## 瑞士ノ「ルゼレン」郡「ブルニツク」山村

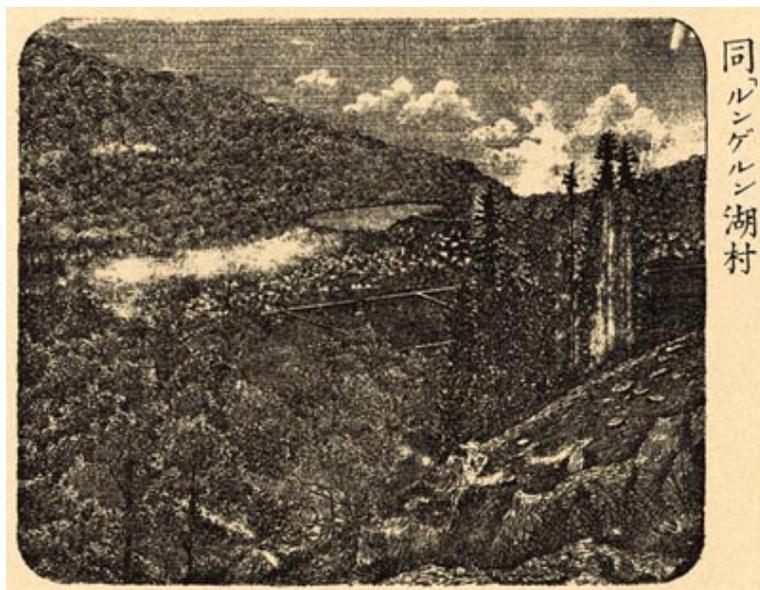


明治六年六月二十二日

此山ヨリ「ルゼレン」郡ニ入ル、「ルゼレン」郡ハ、地積五百八十八方英里、人口十三万二千三百二十八アリ、其民皆羅馬「カドレイキ」教ヲ信ス、其境ニ入レハ、民俗乍チ一変ス、

「ブルニツク」ヨリ山ヲ下ル、後面ノ雪嶺ハ已ニ隠レ、前面ニ乍チ雪嶺ノ嶄然タルヲ露ス、是ハ「ユリ」郡ノ「シャルコルン」嶺ニテ、奇峻削ルカ如ク、半面崩レルカ如シ、岩稜刃ヲナシテ、青空ニ立ツハ、真ニ去天不満天ノ勢アリ、絶巔ノ天風ハ雪ヲ吹き、夕陽ニ映シ、一望膚ニ粟ヲ生セシム、是ヨリ乱松ノ山路ヲ走り下レハ、馬項ノ鈴声琅蠟トシテ、松籟ニ和シ、岑寂ヲ慰ス、瑞士ノ山ニ鳳尾松多シ、其幹ミナ直立ス、錯ユルニ落葉ノ樹ヲ以テス、秋色ノ景モ亦奇ナルヘシ、蘇格蘭ノ山ハ、此ヨリ鳳尾松ノ苗ヲ移シ栽エテ、此景ヲ摸セシモノナリ

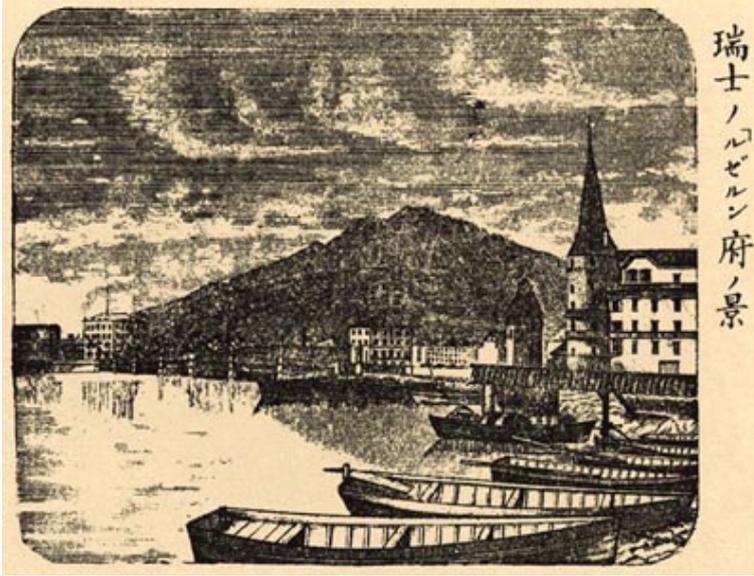
## 同「ルンゲルン」湖村



明治六年六月二十二日

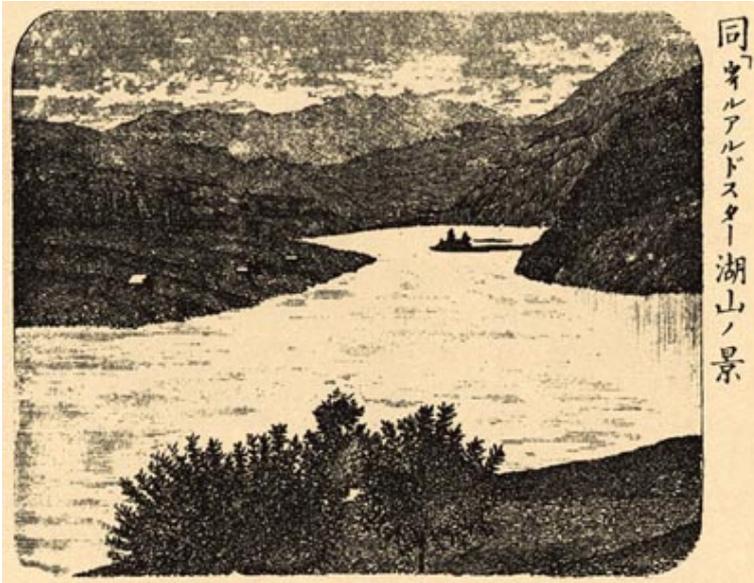
山ヲ下レハ一湖アリ、「ルンゲルン」湖ト云、湖首ニ村アリ、其旅館ニテ茶ヲ喫ス、時ニ五時半ナリ、是ヨリ「ルンゲルン」ノ湖岸ヲ走り去ル、山水ノ奇稍衰フ、只「シャルコルン」ノ危峰半空ニ危兀トシテ、雪ヲ吹き、夕陽ニ立ツヲミルノミ、是ヨリ二箇ノ小湖ヲスク、此湖ノ水ハ、ミナ東北ニ流レ、「サルノン」湖ニ注ク、「サルノン」湖ハ、長サ四英里、湖岸ノ山容頗ルミルニ足レトモ、猶平凡ニ属ス、已ニシテ馬車ハ湖尾「サルノン」村ニ著シ、此ニ投宿ス、「ルンゲルン」ヨリ八英里、時已ニ七時半ナリ

## 瑞士ノ「ルゼルン」府ノ景



瑞士ノルゼルン府ノ景

## 同「ウィルアルドスター」湖山ノ景



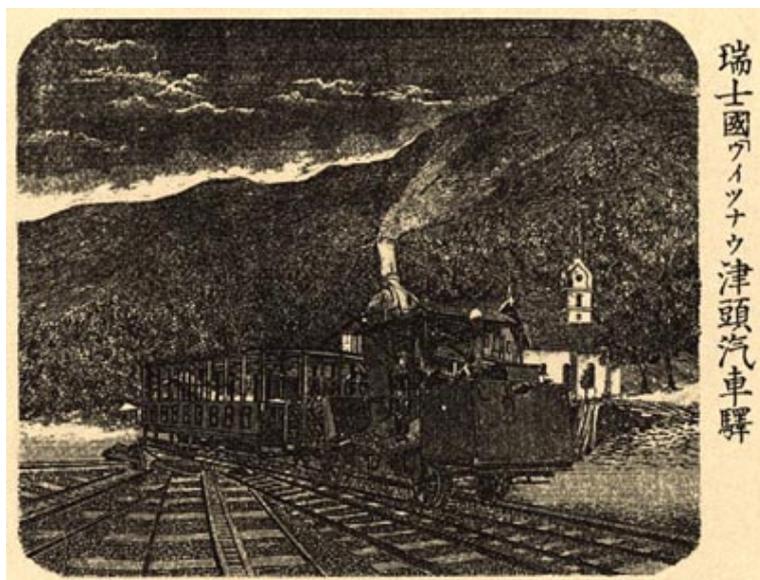
同「ウィルアルドスター」湖山ノ景

明治六年六月二十三日

「ルゼルン」ハ郡ノ首府ニテ、人口一万四千七百人、「ウィルアルドスター」湖ノ尾ニヨル、市塵清潔ニシテ、粉壁雪ノ如ク、堂尖矗立シ、湖光ニ掩映シ、湖ヲ環スル山峰、ミナ奇峻ニテ、倒ニ水ニ鑑シ、景色画クカ如シ、湖水ハ、此西岸ニ至リ、「レウス」河トナリテ、市中

ヲ分ツテ流レサル、一碧澹然ナリ、此河ニ長橋ヲ架シ、西岸ノ市街ト接連シ、其北岸ニハ汽  
車駅アリ、虹影水ニ鑑ミ、湖山ニ対ス、其南岸ニハ、大旅館棟ヲ並ヘテ立チ、街前ニハ樹ヲ  
ウエ、湖岸ノ一帯ハ、人ヲ緑陰ノ下ニ歩セシム、街路ニ甃石ナケレトモ、坦平ナルコト砥ノ  
如ク、石ヲ砌ニシ沙ヲ撒ス、清潔拭フカ如シ、路ニ車馬ノ行少ク、人ミナ悠然トシテ、逍遙  
ヲ放ニス、此路ノ東衝ニ寺アリ、双塔ヲ起シ、共ニ堂尖ヲ聳カス、双耳ノ如シ、此邑ノ眉目  
タリ

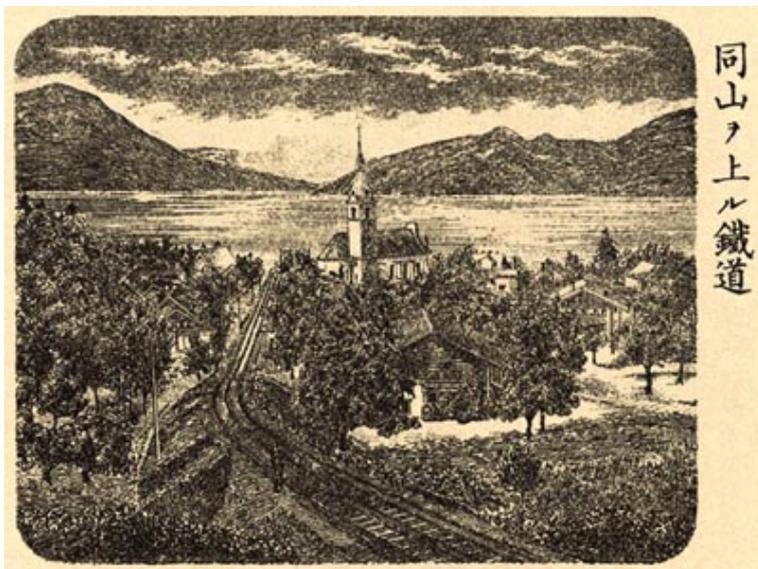
## 瑞士国「ウイツナウ」津頭汽車駅



明治六年六月二十三日

「ウイツナウ」ノ埠頭ニハ、人家数十戸アリ、寺塔尖ヲ抽ンテ、頗ル美観ナリ、此ニ「エルイッキ」ノ蒸気車駅アリ、此处ノ鉄道、併ニ汽車ハ、今度当国ニテ新ニ發明セル建築ニテ、山嶺ヲ上下スルモノナリ、本日ハ其落成ニカハル、抑鉄道ノ開ケシヨリ、已ニ五十年ニ及フ、其利ハ米英諸国ニ遍シ、只其往来ハ、平路ニ限り、俯仰僅ニ七八度ノ斜ヲ走ルニスキス、岡陵山谷ニアヘハ、洞道ヲ穿チ、橋柱ヲ架シ、費ヲ糜スルコト巨大ニテ、竟ニ山嶺ヲ上下シ去ルコトヲ得サルヲ以テ、往往之ニ妨ケラレ、便利ヲ失フコト多シ、米利堅人、曾テ山ヲ登ルヘキ蒸気車ヲ通セント、一種ノ鐵路ヲ架シタレトモ、其功ヲミス、瑞士人更ニ其工ヲ踵テ、多方ニ思慮ヲコラシ、竟ニ此鉄道ヲ架シタリ

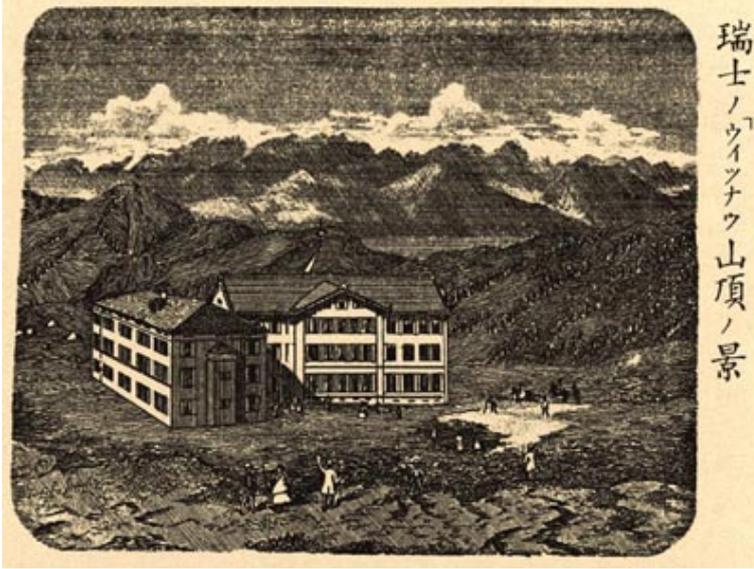
## 同山ヲ上ル鉄道



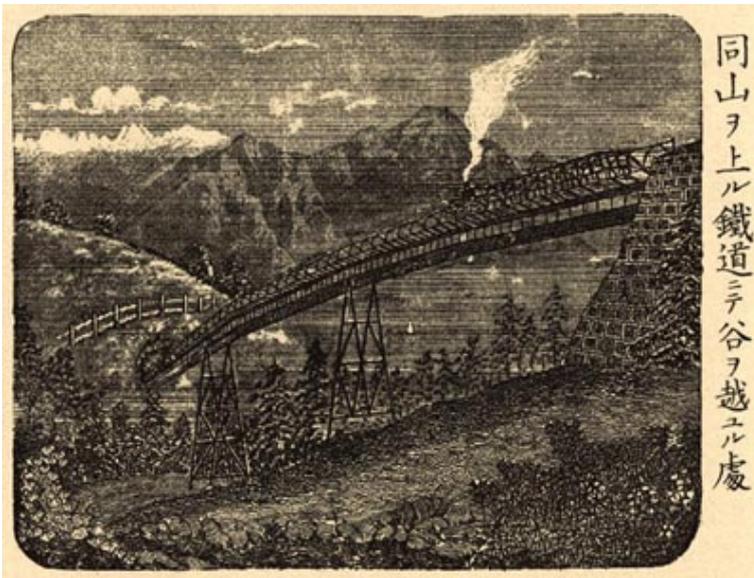
明治六年六月二十三日

此鉄道ハ三年前ヨリ創起シテ、金ヲ集メ、築造スルコト一年ニテ落成セリ、此湖岸ヨリ「エルイッキ」ノ山頂マテハ、直立五千五百尺、是ニ長サ七「キロメートル」ノ鐵路ヲ架シ、其費二百五十万「フランク」、乗車ノ価総テ四十万「フランク」ヲ用ヒタリ、其鉄軌ノ設ケハ、尋常ノ鐵路ノ如ク、双軌ヲ設ケ、中央ニ又一条ノ鉄ヲシキ、是ニ齒格ヲ設ク、其上ヲ輾ル蒸気車ハ、前伏シテ後軒起ス、前ニ二箇ノ施齒輪アリ、後ニ一ノ施齒輪アリ、此齒輪ヲシテ、中条ノ齒格ニ入り、輾転セシメ、以テ左右両輪ノカヲタスクル所ナリ、阪路ノ急ナル所ハ、傾斜三十度ノ角ヲナスモ、猶上下スヘシ、上リニハ推シ下リニハ輓ク、七「キロメートル」ヲ進行シ、一時半ニテ達ス、乗車ノ価一人ニ付テ七「フランク」ヲ収ム

## 瑞士ノ「ウイツナウ」山頂ノ景



同山ヲ上ル鉄道ニテ谷ヲ越ユル処



明治六年六月二十三日

当処ノ勝景ハ、國中ニ奇絶スルヲ以テ、此ニ車路ヲ修メ、四方ノ游人ヲシテ、高峰ニ上リ、縦覧ヲ快クセシムル目的ナレハ、車ノ装置モ、四面ミナ玻璃ニテ、眺望ヲ快クセリ、此車ニ上リテ山路ヲ輾リ上レハ、湖水山峰ミナ、目下ニ落ツ、半腹ニ及フコロ、一ノ洞道ニ入ル、此ヲ出レハ、下ニ百尺ノ谷アリ、鉄橋ヲ以テ谷ヲ横絶シテ去ル、山岩壁ヲ削リ、樹木疎疎ニ

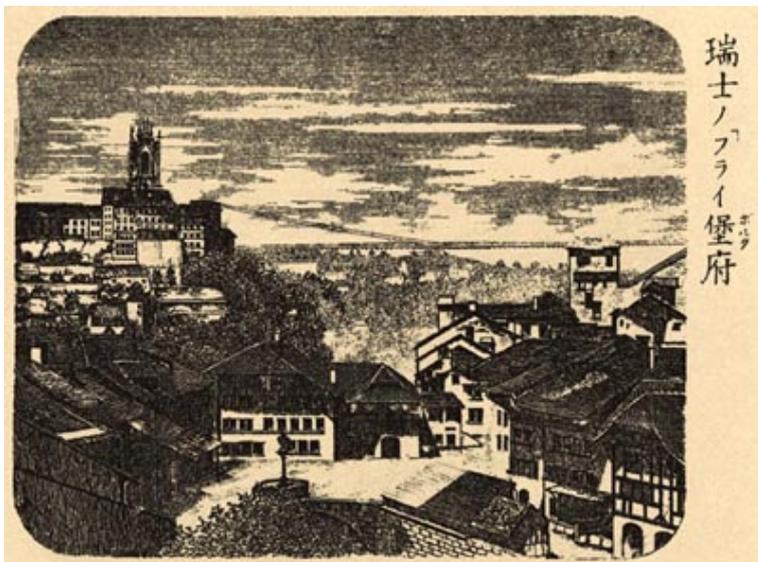
生シ、前ニ懸泉アリ、下ニ湍流アリ、風景壮ナリ、

是ヨリ路ハ益仰キ、三十度ノ斜ニ及フ、此处ニ一舎アリテ、汽車駅トス、此ヲ「ユンテルワーデン」郡ト「シワイツ」郡ノ分界トス、両郡ハ共ニ瑞西独立主唱ノ郡ニテ、当国ノ中央ニ位シ、独逸語ノ民ナリ、郡ミナ小ニ、二三百方英里、三四万ノ民ニスキス、ミナ羅馬「カドレイキ」教ヲ奉ス、夫ヨリ更ニ一峰ヲ上リサリ、遂ニ「ケルバート」ノ嶺ニ達シ、「リギェルム、ホテル」ニ至リテ、宿ヲ定ム、

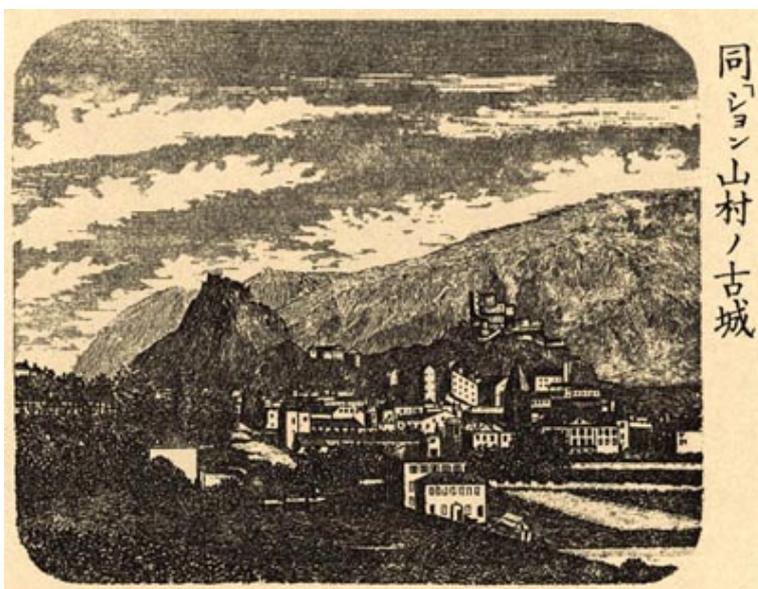
此峰頂ヨリ俯瞰スレハ、高峰ハ怒濤ノ如ク、低巒ハ跳波ノ如ク、南方ニ雪色玉ヲ抛ツカ如キハ、「ユリ」郡ノ郡嶽ナリ、西方ニ乱峰鋸齒ヲ立タルハ、「ベルン」郡ノ諸山ナリ、其中ニ「ルセルン」ノ四湖ハ前ニアリ、「シュクケー」湖「エゲリ」湖「ロメル」湖ハ東ニアリ、「ロチェン」湖「セムバチ」湖ハ西ニアリ、ミナ大鏡小鏡ヲ抛テ、波濤ノ中ニ漂セタルカ如ク、其佳眺タル謂ン方ナシ、晴朗ノ日ニ、更ニ遠望ヲ極ムレハ、十五ノ湖水ヲミルトナリ、此日ハ飛雲相迷ヒテ、遠望ニ宜シカラス、須臾ニシテ雲来リ峰ヲ包ミ、咫尺晦冥トナル、因テ遊覽ノ眼ヲ収メ、二時ヨリ旅館ニ入ル、

是ヨリ食堂ニ於テ、鐵路落成ノ宴会ヲ開ク、会食ノ男女百余人、食享盛饌ヲキハメ、食間ニ「スピーチ」アリ、衆人ミナ器械師ノ偉業ヲ稱賛シ、此席ニテ褒賞ノ金杯ヲ与フ、四時ニ至リ徹宴シ、竟ニ此ニ宿ヲナス

## 瑞士ノ「フライ」堡府



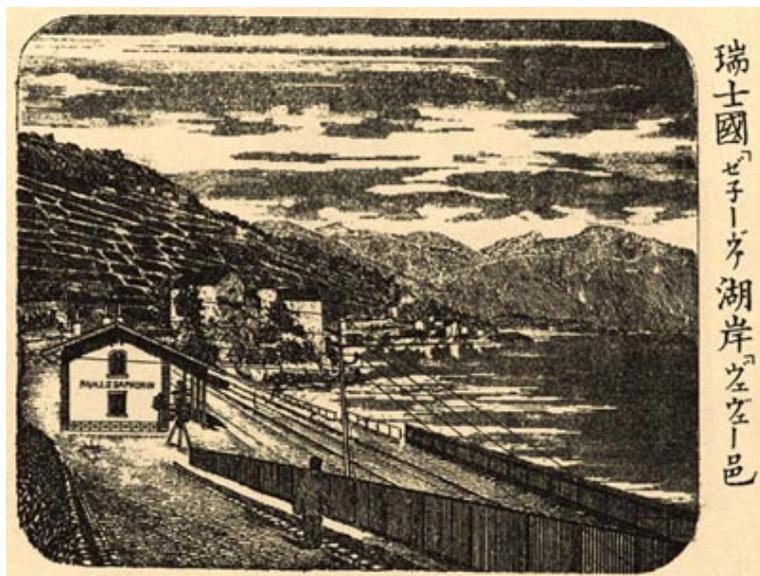
## 同「ション」山村ノ古城



明治六年六月二十九日

「フライボルク」ハ、当郡ノ首府ニテ、全郡ノ地積五百六十七方英里、人口十一万、首府ノ人口一万余、「サロン」河ハ、府中ヲ曲折シ流レ、深ク数仞ノ地底ヲユク、飛橋ヲ其峡上ニ架ス、長サ三百「メートル」ニ及フ、市塵ハ岡ヲ埋メテ、高低一ナラス、寺塔参差トシテ、巉岩ノ際ニ起リ、或ハ古城ノ傾仄シ聳ユルアリ、此辺ノ一都会ニテ、風景ノ美ナルコト、「ベルン」ニ亜スヘシ

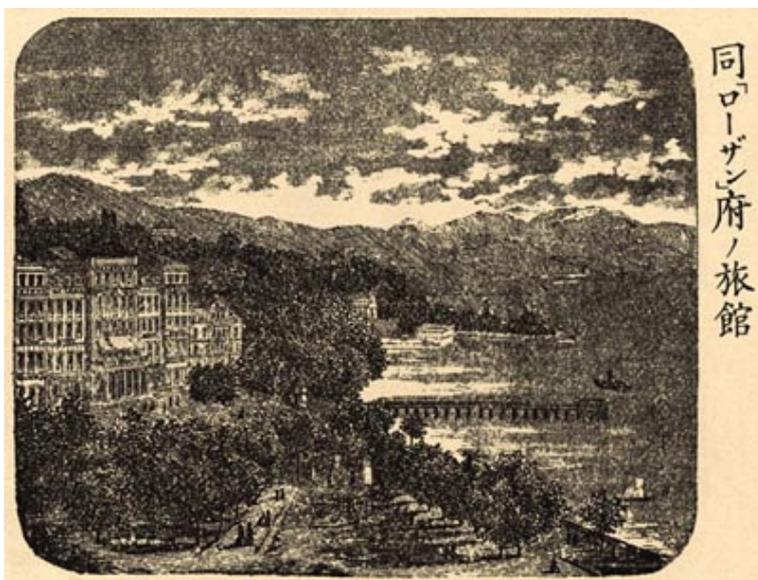
## 瑞士国「ゼネーヴァ」湖岸「ヴェヴェー」邑



明治六年六月二十九日

是ヨリ一隧ヲメクリ出レハ、「レマン」湖ノ（一名「ゼネーバ」湖）水、豁然トシテ前ニ開ケ、「ヴェヴェー」邑ノ人家、皎然トシテ湖岸ニ連リ、蒸気車ハ山腹ヲ走ル、前後ノ峰容、水ニ鑑シ霞ヲ曳キ、ミナ俊逸ノ姿アリ、真ニ快絶ノ景ナリ、此辺湖岸ノ地ハミナ葡萄ヲウユ、凡葡萄ハ平地ニ宜シカラス、其根ハ水ヲ忌ム、故ニ傾斜ノ坡ニ於テ種ユ、溪谷河墳ノ地ノ如キハ殊ニ其土宜ニカハルト云、二時十分前ニ「ローザン」府ノ駅ニ至リ、馬車ニ駕シテ、「ホテルワーシ」ニ休シ、昼食ヲ辨ス（「ローサン」ノコトハ後ニ記ス

## 同「ローザン」府ノ旅館



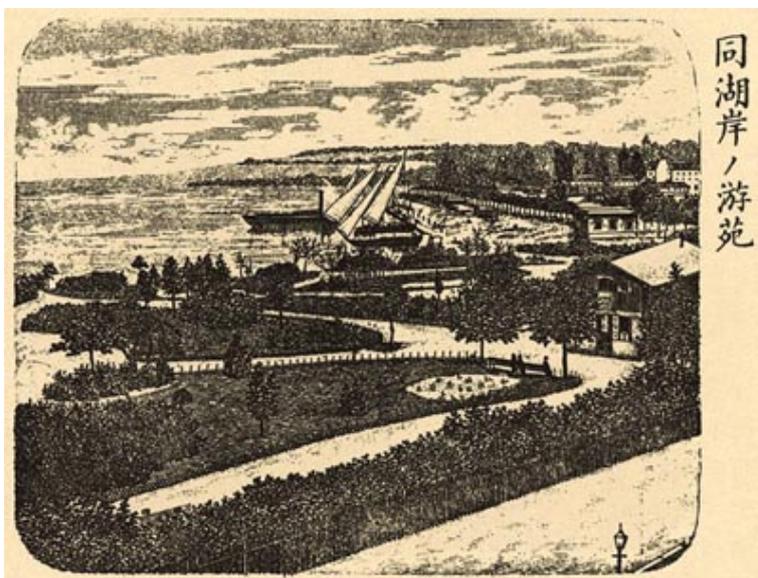
明治六年六月二十九日

五時五分ニ、「ローザン」ヨリ湖上ノ郵船ニ上リ、「ゼネーバ」府ニ赴ク、此辺ハ湖水ノ尤モ  
広キ所ニテ、兩岸相距ルハ七英里ニスク、「ローザン」ノ向岸ヲ「エヒヤン」村ト云、此ハ  
仏国ノ部分ニテ、温泉アリト云、此岸ニ一停シ、岸ニソヒ駛行シ、「チョン」ノ埠頭ニ至ル、  
此モ亦仏国領ナリ、此辺ヨリ湖首ノ奇峰ミナ隠レテ、兩岸ノ山容ミナ平温ナリ、湖光豁ニ、  
水面澹トシテ、霞ヲ皺メ、山烟縹緲トシテ、夕日ニ映ス、是ヨリ斜ニ湖水ヲ横截シ、七時五  
分ニ「ニヨン」ノ岸ニ至ル、此辺ヨリ南ニ一ノ雪峰ヲ露ハス、皎然トシテ、玉ヲ瑩シ劍ヲ磨  
シ、岸巒ノ間ニミユル、是毎ニ記述セル「アルプス」ノ絶巔「モンブラン」山巔ニシテ、其  
根ハ、仏、以、瑞ノ三国ニ蟠屈シ、歐洲第一ノ高嶽ナリ、直立一万五千九百尺、我富嶽ヨリ  
高キコト一千五百尺以上ニ及フ、是ヨリ「コフベット」ニ一停シ、八時ニ「ゼネーウァ」府  
ニ達シ、「ホテル、デベルギユス」ニ宿ス

## 瑞士国「セネーヴァ」府湖尾ノ景



## 同湖岸ノ游苑



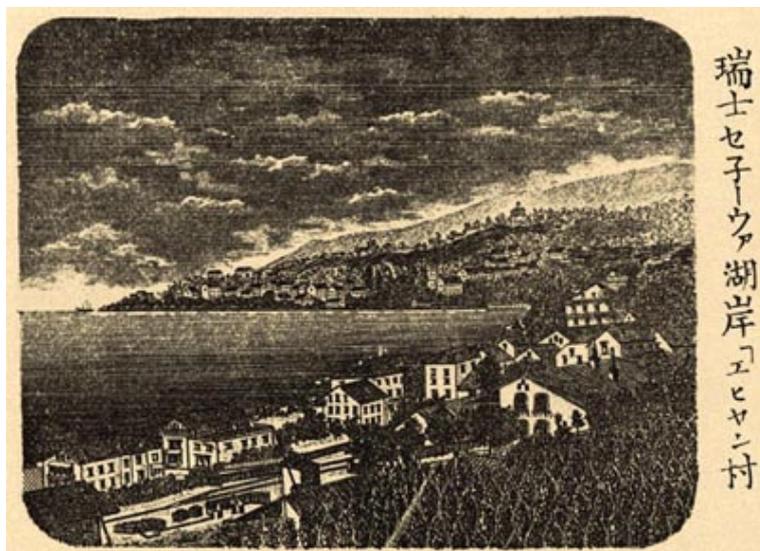
明治六年六月三十日

陰

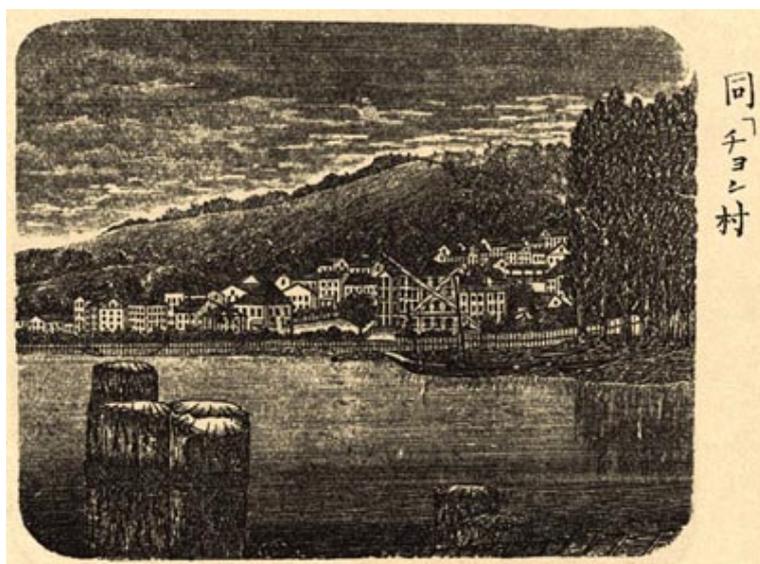
「ゼネーヴァ」郡ハ、地積元ヤ、大ナリシニ、仏国ヨリ削ラレ、今ハ僅ニ九十四方英里、人口九万三千アルノミ、当府ハ瑞士第一ノ都会ニテ、時辰儀ノ名所ナリ、「レマン」湖ノ尾ナル河口ニヨリテ、市街ヲ開ク、是此湖ノ一ニ「ゼネーヴァ」湖ト称スル所以ナリ、其地北緯

四十四度二十四分、東経八度五十四分ニ位シ、人口四万七千アリ、外国ノ寄留人ヲ併セ数フ  
レハ、六万八千口ニ及フト云、前ハ湖水ニヒカヘ、左右ニ峰巒層複シ、中ニ大河ヲ抱キ、「モ  
ンブラン」山、雪色ヲ輝カシテ湖上ニ立ツ、風景目ヲ拭フ、市廛宏壯ニテ、街路修リ清浄ナ  
リ、市民客ヲ待ツニ和ニ、業ヲ務ムルニ精シク、遠人ノ来寓スルモノ帰ルヲ忘ルト云

## 瑞士「セネーヴァ」湖岸「エヒヤン」村



## 同「チョン」村



明治六年七月十日

晴

府中ヨリ享応ニテ、湖上ニ蒸気船ヲ舩シ、楽ヲ奏シ、旅館ノ前岸ヨリ、輪じんヲ発シ、「レマン」湖ニ航遊ス、府中ノ官吏商豪、船ヲ共ニスルモノ三四十名、或ハ楽伎ヲ以テ加入スルモアリ、主客ミナ舳板上ニ榻ヲ雑陳シ、風景ヲ攪シ、談論笑話、只意ノ適スル所ナリ、船室ニハ茶酒果ヲ供シ、飲ヘシ、喫スヘシ、船尾ニハ、楽声劉亮トシテ、風ニ飄リ湖ニ響キ、飄

飄乎トシテ羽化登仙ノ思ヒアリ、「モンブラン」山ハ氷雪ヲ瑩キ、「ニヨン」邑ノ水波ハ、霞ヲ帯ヒ、夏山ノ綠色靄如ナリ、「チョン」津ヲスキテ、嶽雪ヲ餞スレハ、前湖ノ山勢、峻巍ヲ競ヒテ舟ヲ迎へ、「ローサン」ノ烟華ハ、縹緲トシテ蜃樓ノ如シ、「ヴェヴェー」ノ古城下ヲ回り、終ニ湖首「シャルボー」ノ岸ニ達ス、「シャルボー」ノ南ニハ、「ロオン」河ノ「レマン」湖ニ注入スル所ニテ、河水ノ来ル処ハ、山嶽開キテ一帯ノ平野ヲナス、河水浩汗ニテ、其河蹟ヲ洗ヒ、淙溜トシテ湖湾ニ瀉入ス、泡沫湖ニ漂ヒ水モ亦渾ル、河ノ両側ハ、群山ミナ嶮巍ナリ、乱濤ヲ崩スカ如クニ聳起シ、東方ニハ遙ニ遠峰ノ峻ナルヲ露スハ、此湖首ノ勝景ナリ、「ロオン」河ハ、瑞士ノ中部「ユリ」郡ヨリ源ヲ発シ、諸溪ノ水ヲ集メテ、此ニテ湖ニ注キ、又湖尾ヨリ仏国里昂府へ流れ出テ、南方地中海ニソ、ク、一ノ大河ナリ

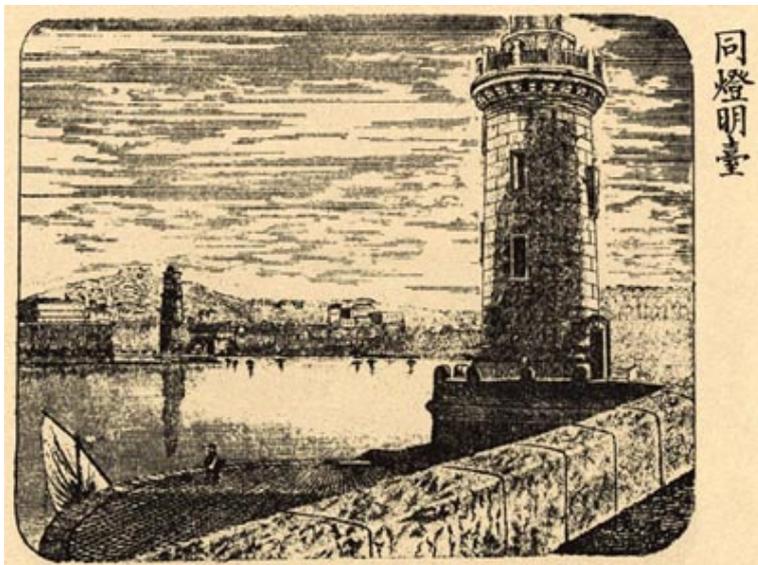
## 仏朗西國馬耳塞府「レプレト」苑



明治六年七月十八日

府ノ南ニ当リ、一帯ノ遊息場アリ、「ルプレド」ト云、長サ一英里余、磬折ノ広路ヲ開キ、四條ニ行樹ヲウエ、約八九歩ニ一株、井井トシテ法アリ、中道ヲ広クシテ車走ノ路トス、直クシテ髮ノ如シ、樹樹ミナ丈余ノ処ヨリ枝ヲ分チ鬱葱タリ、其杪頭ハ各互相交リ、青天ヲ蓋フ、緑葉ヲ以テ洞道ヲ造ルカ如シ、而テ其内ノ風ハ秋ナラスシテ常ニ冷カナリ、路窮リテ広苑アリ、茂草ヲ砌トシテ花卉ヲウエ、方円ニ徑ヲ開キ、錯ヘ樹ユルニ木ヲ以テス、花爛漫トシテ芳ヲ吹き、涼風タメニ薫ス、左ニ小阜アリ、一ノ宮殿アリ、甚タ大ナラサレトモ、亦五層ノ石屋ナリ、是ハ元仏王ノ離宮ナリシニ、今ハ廢シ、其器什具ヲ列シテ博物館トナシ遊人ニ示ス（凡ソ歐洲ニテ古城廢宮ミナ其村邑ヨリ之カ費ヲ損シテ時ヲ以テ修治シ洒掃シ其器什ヲツラネテ敢テ毀ツコトナシ）、是ヨリ西ニスレハ、海岸ニ出ツ、前山ハ青靄ヲ曳キ、後山ハ赤岩ヲ敬テ、灣頭ノ眺メ甚タ敞ナリ、海岸一帯、ミナ石垣ヲ疊ミ、裁然トシテ數英里ニ連リ、坦途ハ其上ヲ廻ル、地ニ片石ナク、車走ニ声ナシ、山岡ハ路傍ヨリ起ル、ミナ黄赤色ノ軟巖ニテ、以テ海湾ノ山嶂ニ接ス、其谷ヲ崩シ其石ヲ取テ、処処市屋ヲ起ス、屋壁ミナ山ト一色ナリ、以テ赤野ノ光景ヲ飾ル、此海湾ハ、府ノ納涼地ナリ、岸頭ニ遊車數十輛アリ、馬ヲ浴セシメ、併テ又海水浴ヲナス

## 同燈明台

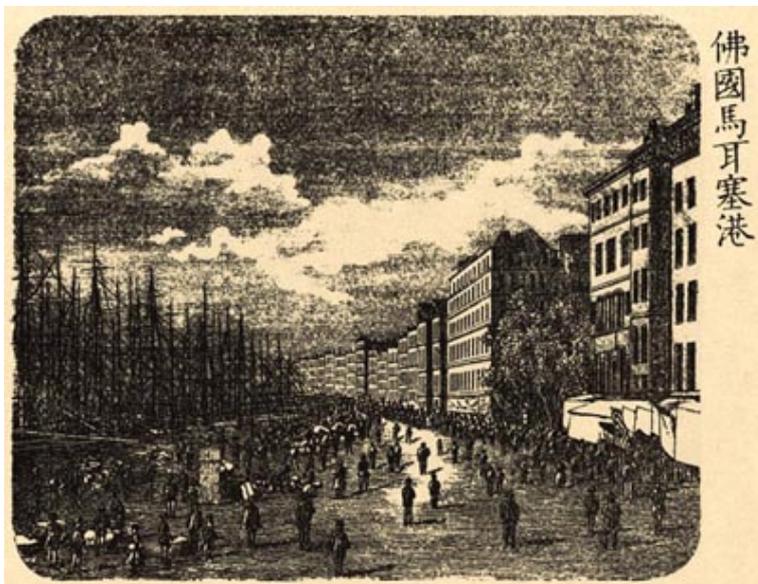


明治六年七月十九日

晴天風起リ黄埃目ヲ眩ス

馬爾塞ノ埠頭ヲ廻ル、此府ノ埠頭ハ、海湾ノ東岸ヨリ、北岸ノ角ヲ占メテ起ル船廠数所アリ、小船直ニ市街ノ前ニ至リテ繫碇シ、叢然トシテ檣林ヲ植ユ、大船ハ較北ナル大廠マテ至ル、浮橋ヲ以テ波止ヲ修メ、潮ニ従ヒ高低自在ナリ、廨舎ヲ以テ其貨物ヲ括シ、燈台アリテ岬ヲ標シ、砲台アリテ其難ニ備フ

## 仏国馬耳塞港



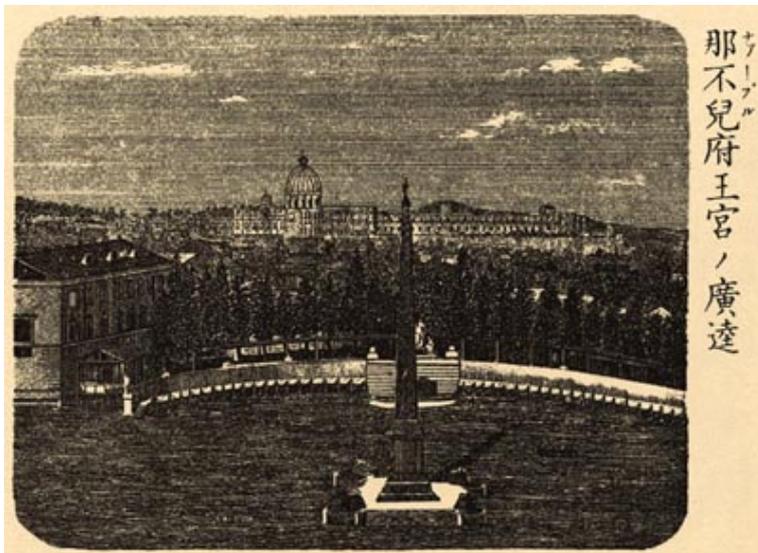
## 同海岸



明治六年七月十九

仏ノ東洋郵便会社船ハ、此埠頭ヨリ起程シテ、支那ノ香港、上海ニ至ル、二週毎ニ一発シ、四十九日ニテ達ス、横浜ニ赴クモノハ、香港ニ上岸シテ船ヲカユ、上等客ハ人コトニ二千七百「フランク」、毎室ニ名ヲイルハ、次等ハ千七百「フランク」、毎室ニ四名ヲイルハ、此回ニ発スル船ヲ「アウア」号ト云

## 那不兒府王宮ノ広達



明治六年七月二十二日

七月二十二日モ、亦晴天風穏ナリ、暁四時ニ、以太利ノ那不兒埠頭ニ著シ、錨ヲ投ス、進行百七十八海里、正午ニ錨ヲ拔テ、「カンチナ」ノ岬ヲ回り、以太利ノ海ヲ駛行ス、温八十三度（「セ」氏二十六度半）、気針二十九度五分ナリ、七時十七分ニ太陽海平線ニ沈ム、此日大暑ノ節ニ入ル、太陽北二十度六分ニアリ、馬爾塞港ヨリ、那不兒マテ四百五十三海里、此府ノコトハ、已ニ以太利ノ卷ニ詳ナレハ、又記載セス

## 同府ノ全景及ヒ「ヴェスシオ」火山



明治六年七月二十二日

此日天牢晴ニテ、「モンヴェスシウオ」ノ火山、突兀トシテ烟ヲ吹ク、雲ノ騫起スルカ如ク、港内ノ景色ハ、幾度ミテモ厭サル絶景ナリ、九時ニ船ニ上ル、土民ハ船中へ珊瑚ノ飾リ、葡萄杖、彩影、紐釦等ヲ攤列シ、船客ニ買ンコトヲスハム、甚タ喧喧ナリ

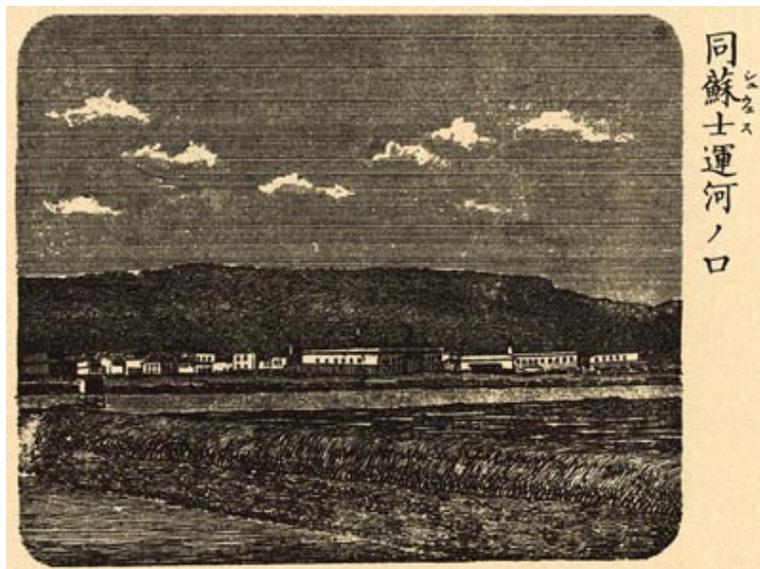
## 埃及人ノ風俗



明治六年七月二十六日

此日ハ驢ニ跨リテ、邑内ヲ散駆セシニ、革鞍穩カナラス、輪鐙參差タリ、騎シテ沙場ヲ行ク、亦此行ノ一奇ナリ、土人ハ色銅色ニテ、黒鬚蛟ノ如ク、音吐激越ニテ、叫フカ如ク嘖ルカ如ク、略英、仏ノ語ヲ解スモノアリ、土人ノ住居セル街ニ至レハ、ミナ陋矮ナリ、往往ニ蒲ヲ編ミ以テ宇トシ壁トシ、其中ニ棲息スルアリ、又板葺ノ矮屋ヲタテ、板古ヒテ半顔レタリ、男子ハ窄袖ノ単衣ニ指貫ノ如キ袴ヲ着ス、婦人ハ黒巾ヲ以テ面ヲ掩ヒ、両眼ノミヲ出ス、衣ハ下幅頗ル編遷トシテ、欧人ノ褻服ノ如シ、遂ニーノ珈琲亭ニ牽ヒ至ル、亭ノ粧置ハヤ、清快ナリ、葡萄、麦酒、曹達、檸檬水ヲ飲シム、価ヲ貪ルコト甚タシ、客ヲ款待スルニハ、頗ル懇切ナリ、然レトモ声音ノ激昂ナル、乍聞ケハ粗暴ナルヲ怪マシム、此亭ノ前ニ、三四宇ノ廨舎アリ、謂フ娼店ナリト、屋中ニ寢床食案ヲ設ケ、線帯ノ帳ナトヲカケ、黒色銅色ノ婦人アリ、其帳前ニ坐ス、其中ニ金ノ指環腕環ヲ貫キ、粹白ノ木棉ニ、紅紋ヲ印セル花布ヲ衣トシ、指貫ヲ著シ、覆面ナクシテ、媚態ハ面ニ溢レ客ノ来ルヲ待ツ、是ヨリ下等ノ娼ハ、外ニ出テ土ニ寢タル女モアリ、此辺ノ地ハ暖国ニテ、乾燥ナルユヘ、スベテノ人民、土ニ寢処スルヲ厭ハス、平民ノ家ニハ土床多シ

## 同蘇士運河ノ口



明治六年七月二十七日

「ポルトサイド」ヨリ蘇士マテ、百英里ノ地峡ヲ、郵船ニテ駛行スルヲ得ルハ、僅ニ四年前ヨリノコトニテ、是ハ仏国ノ学士「レッセフス」氏ニ向ヒテ、謝スヘキナリ、此地ヲ鑿割リテ、大運河ヲ通スルニハ、「レッセフス」氏多年ノ苦慮ヲ鍾メ其ノ積成ニ因テ、實ニ振古希有ノ大偉業ヲ立タリ、抑地中海ト紅海トノ呼吸ヲ、此百英里ノ地峡ニテ阻絶セラレ、欧、細、弗、三洲ノ交易、之カ為メニ妨ケラレ、或ハ喜望峰ノ巨濤ヲ冒シ、或ハ埃及ノ赤野黄埃ヲ涉リシコト、数千年ナリシ、古代ヨリ此障礙ヲ除キテ、便利ヲ開カンコトヲ謀ルコト、亦幾許人ノ智カヲ苦メシヲ知ラス、天ノ生民ニ利益ヲ与ヘルヤ、引テ放サス躍然ナリ、人ノ神智氣力、或ハ思フテ至ラス、為テ遂クルアタハスシテ、造化ノ秘ハ、隠レテ世ニ著レス、後人ヘ靈智魄カヲ用フヘキノ地ヲ与フル、實ニ窮極ナシ